

おかげさまで創業190周年

TAKASHIMAYA 190th

人に、まちに、未来に。



「ビザの  
実物」を公開。  
千畝が発給した



生誕  
120  
周年

杉原

すぎはら

120th Retrospective SUGIHARA

千畝展

ちうね

CHUNE EXHIBITION

2021 9/15(水) - 27(月)

京都高島屋7階 グランドホール

【ご入場時間】午前10時～午後6時30分(午後7時閉場)

※最終日9月27日(月)は午後4時30分まで(午後5時閉場)

※都合により変更となる場合がございます。最新の情報は京都高島屋のホームページをご覧ください。

【入場料(税込)】一般1,000円(800円) / 大学・高校生800円(600円) / 中学生以下無料

※( )内は前売りの割引料金。前売券は京都高島屋7階商品券サロン、セブンチケット(セブンコード:090-030)、

ローソンチケット(Lコード:53225)にて8月11日(水)から9月14日(火)までお求めいただけます。

主催:NHKサービスセンター、NPO杉原千畝命のビザ

後援:アメリカ大使館、イスラエル大使館、オランダ王国大使館、カナダ大使館、ドイツ連邦共和国大使館、

ポーランド広報文化センター、リトアニア共和国大使館、岐阜県、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、

名古屋市教育局、早稲田大学文化推進部、瑞陵会、NHK京都放送局

協力:外務省外交史料館、八百津町・杉原千畝記念館、人道の港 敦賀ムゼウム、JTB

共同制作:オーク

※当催については、「障がい者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。

※安全のため、小学生以下のおこさまは必ず保護者の方ご同件でご入場ください。

※店舗の営業時間変更や、一部売場・コーナーで休業する場合がございます。

※一部商品の入荷遅れ・生産中止や、展覧会・催しイベント等が変更・中止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

命のビザに  
刻まれた想い

安全・安心のためにお客様へお願い

- 体調が悪い場合は、ご入場をご遠慮ください。
  - 一人もしくは少人数でのご入場をお願いします。
  - ご入場の際はマスクの着用、手指の消毒をお願いします。
  - ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
- ※会場の混雑状況により、入場制限をさせていただく場合がございます。

高 Takashimaya KYOTO

TEL 075-221-8811



1939年、第二次世界大戦のさなか、杉原千畝は、リトアニアの日本領事館の領事代理として、家族とともにカウナスに赴任。迫害から逃れる多くのユダヤ人を含む難民に、本省の意向に背いて日本通過のビザを発給することを決断します。

本展では、千畝が発給したビザの公開をはじめとする多彩な史料群により、活動の軌跡を一堂に展覧します。毅然とビザを発給し続けた杉原千畝の信念と、それを支えた協力者の存在、それによって繋がった多くの命の物語を伝えます。



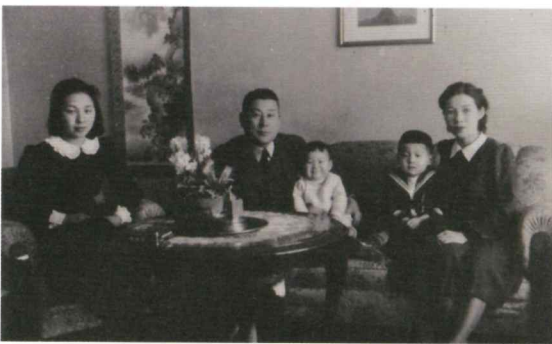
「家族写真(後列左 千畝)」(1906年頃)



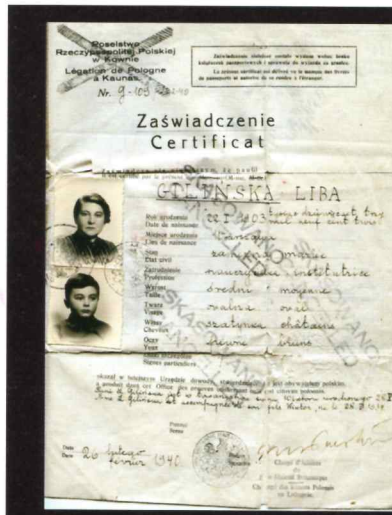
「領事館前のユダヤ人たち」(1940年)



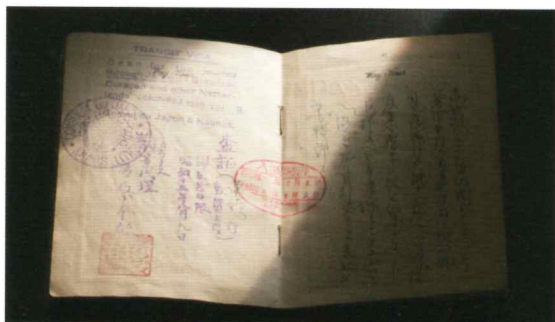
「ビザ・リスト」(1941年)(複製展示)



「リトアニアでの家族写真」(1939年)



「ギリンスキー家ビザ(部分)」(1940年)



「ブルマン家ビザ」(1940年)



「杉原千畝が描かれた顕彰切手」



「ヤド・バシム賞メダル」(1985年)

### 杉原 千畝(すぎはら ちうね)

1900年1月1日生。1918年早稲田大学入学。翌年外務省留学生採用試験に合格し、ハルビンに留学。1932年満州国建国、同国外交部勤務。1937年フィンランド・ヘルシンキ公使館勤務。1939年リトアニア・カウナスの日本領事館へ。ユダヤ人難民にビザの発給を決断。

その後、ブラハの日本総領事館、ケーニヒスベルク日本総領事館、ルーマニア・ブカレスト日本公使館に勤務。1947年外務省退官。1985年イスラエル政府より「ヤド・バシム賞」受勲。

1986年7月31日没。